



県内で最初の取組

① 妊娠、出産から切れ目のない寄り添う支援

～6つの子育て支援事業を一つの施設でワンストップ～

子育て世代の誰もが気軽に立ち寄れる子育て支援の拠点施設「山陽小野田市子育て総合支援センター スマイルキッズ」。親子がくつろいで交流でき、保健師や保育士などの専門職員が妊娠期から子育て期まで切れ目なく寄り添い、きめ細かな支援を行います。

●子育てコンシェルジュ

保育の知識と経験をもつ子育てコンシェルジュによる子育て世代に寄り添った子育ての相談助言、情報提供。

●子育て世代包括支援センター・ココシエ

保健師による妊娠期から出産、育児期まできめ細かな相談支援。

●プレイスペース・キッズキッチン（地域子育て支援拠点）

広くて明るいプレイスペースで、親子の交流、子育て不安や負担感を軽減。キッズキッチンでの食育講座をはじめ様々な子育て講座を開催。

●ファミリーサポートセンター

一時的に子育てを助け合う市民相互の援助活動の窓口。

●家庭児童相談

児童虐待その他支援が必要な家庭や児童に対する相談支援。

●母子保健事業

安心して妊娠・出産・育児をするための様々な母子保健サービス。

- ・妊娠届出時の面談
- ・家庭訪問
- ・妊産婦、乳幼児健康診査
- ・マタニティスクール
- ・育児学級
- ・不妊治療費助成 など

※出産後の充実したサポート

出産後、ママとパパが安心して子育てができるよう、保健師や専門機関がママの体と心の健康状態を確認し適切に支援。・産後ケア ・産婦健康診査

② 充実した産科医療体制（市民病院）

経験豊かな助産師をはじめ専門スタッフが安全で安心な分娩を支援します。

- ・助産師外来
- ・マタニティヨガ
- ・理学療法士による腰痛運動療法
- ・母子同室
- ・LDR（陣痛・分娩・回復室）
- ・アフターヨガ（パバママ教室）
- ・産婦人科相談室「ひだまり」（母乳相談）
- ・不妊相談、不妊症治療

山陽小野田市は、子育て世代から選ばれるまちを目指します

③ 乳幼児期からの食育推進

県内で最初の取組

乳幼児期から食に関心を持ち、様々な食体験を通して食の知識やマナーを学ぶ機会を提供し、生涯にわたって正しい食生活を推進します。

- ・もぐもぐはかせ教室（1歳半～3歳）
- ・ミニしょくいくはかせ教室（3歳半～6歳就学前）
- ・ねたろう食育博士養成講座（小学生以上）

④ おなかの赤ちゃんとは絵本の出合い

全国で最初の取組

～全国初のマタニティブックスタート～

おなかにいる時から赤ちゃんに絵本を読み、親子で心を通わすマタニティブックスタートをはじめ、読書を通して親子が成長する様々な機会を中央図書館から提供します。

- ・マタニティブックスタート
- ・ぬいぐるみ図書館お泊り会
- ・絵本で子育て講座
- ・乳幼児向けブックリスト
- ・絵本で笑顔！フォトコンテスト

⑤ 生活改善とモジュール学習による学力向上

早寝・早起き・朝ごはんで心と体の土台をつくり、学校のモジュール学習で脳を鍛え、子どもの学力向上を図ります。

- ・生活習慣の改善
- ・授業開始前のモジュール学習

県内で最初の取組

⑥ 小・中学生の学びや育ちをコミュニティ・スクールが応援

コミュニティ・スクールである市内すべての小・中学校で、保護者や地域住民が参画する「学校運営協議会」が中心となって積極的に学校や家庭を応援します。

- ・登下校の見守り支援
- ・ボランティアによる読み聞かせ

⑦ まち全体で、家庭教育支援チーム

家庭教育支援チームが、学校や公民館で相談会や講座を開催し、子育てや家庭教育に悩む保護者を支援します。

- ・公民館 de 子育て応援カフェ
- ・就学時健康診断子育て講座
- ・子育てサロン
- ・ネットとつくりがま「『親子の学び』プログラム in 山陽小野田」

⑧ 乳幼児、子どもの医療費を応援

子育て家庭の経済的負担を軽減し、子どもの健康の増進と健やかな成長を支援します。

- ・中学生以下の自己負担分を全額助成（小中学生は所得制限あり）